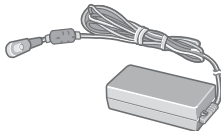
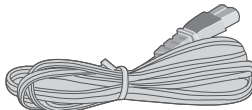
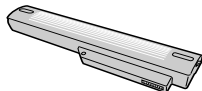
Panasonic®

パーソナルコンピューター
ご使用の前に

品番 CF-R3／CF-T2シリーズ

- 本書では、モデルによって異なる内容について説明しています。『取扱説明書』および本書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 無線LANを内蔵していないモデルをお使いの方は、『取扱説明書』および『操作マニュアル』に記載されている無線LAN機能をお使いいただくことはできません。また、無線LAN機能に関連する項目なども表示されません。（例：セットアップユーティリティの「詳細」メニューの[無線LAN]）

もくじ

取説 ：『取扱説明書』をご覧ください。
困ったときのQ&A ：『困ったときのQ&A』をご覧ください。
ページ番号 ：本書の該当ページをご覧ください。

付属品／別売り商品

付属品を確認する

下記のものがすべてそろっているか確認してください。
万一、足りない場合、または購入したものと異なる場合は、ご相談窓口にお確かめください。

AC アダプター .... 1 個	電源コード .... 1 本
品番：CF-AA1625A	
バッテリーパック .... 1 個	**印刷物など**
<CF-R3シリーズ> 品番；CF-VZSU32 <CF-T2シリーズ> 品番：CF-VZSU24B	• 取扱説明書 • 困ったときのQ&A • Windowsファーストステップガイド • 保証書（保証書は梱包箱に貼り付けられています。） • 保証期間延長依頼書 • ご使用の前に（本書）

再インストール（コンピューターに何らかのトラブルが発生し正常に動作しなくなった場合などに行う）に必要なデータは、ハードディスク内に格納されています。再インストール用CD-ROM/DVD-ROMなどはありません。

• 本機には『取扱説明書』に記載の「無線LAN接続ガイド」は付属しておりません。

別売り商品について

別売り商品の名称と品番は最新のカタログでご確認ください。
仕様改善のため、予告なく変更することがあります。

品　名	品　番
ACアダプター（電源コード付き）	CF-AA1625AJS （コンピューター本体の付属品と同等品です。）
バッテリーパック	<CF-R3 シリーズ >CF-VZSU32U <CF-T2 シリーズ >CF-VZSU24BU （コンピューター本体の付属品と同等品です。）
RAMモジュール	CF-BAU0256U／CF-BAU0512U （RAMモジュールを取り付けた場合、動作周波数は 266 MHz（PC2100相当）となります。）
外部FDD（USB接続外付3.5型3モード対応（1.44 Mバイト*1/1.2 Mバイト*1/ 720 Kバイト*2））*3	CF-VFDU03JS
ポータブルCD-R/RWドライブ	KXL-RW40AN
ポータブルDVD-ROM & CD-R/RWドライブ	KXL-CB30AN / KXL-CB35AN
DVD MULTIドライブ	LF-M660JD / LF-M760JD / LF-P667C / LF-P767C
<CF-T2 シリーズ >バッテリーチャージャー	CF-VCBRT1U
パソコン用スピーカー	RP-SPC300-S

*1 1 Mバイト =1,024,000 バイト。OS または一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値で M バイト表示される場合があります。
*2 1 Kバイト =1,024 バイト。
*3 1.2 Mバイトと720 Kバイトの読み書きは可能ですがフォーマットはできません。

本機の設定を変更する（セットアップユーティリティ）

本機のセットアップユーティリティには、以下の機能が追加されています。他の項目については、『取扱説明書』の「本機の設定を変更する（セットアップユーティリティ）」または『操作マニュアル』の「セットアップユーティリティ」をご覧ください。

- 累積使用時間の表示：「情報」メニューに10時間単位で表示されます。
- ハードディスク保護：「セキュリティ」メニューに表示されます。詳しくは下記をご覧ください。
- ハードディスクバックアップ／リストア：バックアップ領域を作成したときのみ表示されます。（☞5ページ）

ハードディスク保護

■設定項目

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

ハードディスク保護	
● ハードディスク保護を使用する／使用しないを設定します。 スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。また、ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときは、表示されません。	無効 有効

［ハードディスク保護］を［有効］に設定すると

ハードディスクを別のコンピューターに取り付けた際に、ハードディスクのデータが読み書きできないようになります。ハードディスクを元のコンピューターに戻すと、以前と同じようにハードディスクに読み書きできます。ただし、この場合、セットアップユーティリティの設定をハードディスクが取り外される前と全く同じに設定しておいてください。
セキュリティのためには、［起動時のパスワード］を［有効］に設定しておくことをおすすめします。
（ハードディスク保護でデータを完全に保護できるという保証はありません。）

お知らせ

- ハードディスク保護の機能は、内蔵ハードディスクのみに働きます。外付けのハードディスクに、この機能は働きません。

●［ハードディスク保護］を設定する（［有効］または［無効］にする）

1 セットアップユーティリティを起動する。
（☞『取扱説明書』の「本機の設定を変更する（セットアップユーティリティ）」）

2 ← →で［セキュリティ］を選ぶ。

3 ↑ ↓で［ハードディスク保護］を選び、Enter を押す。

4
- 有効にするとき
  「有効」を選んで Enter を押す。
  「[重要]お知らせ」の画面が表示されたら Enter を押してください。
- 無効にするとき
  「無効」を選んで Enter を押す。

5 F10 を押し、「はい」を選んで Enter を押す。

お願い

- 本機の修理を依頼される場合
  ［ハードディスク保護］が［無効］になっていることを確認してください。

再インストールする (ハードディスク リカバリー)

再インストールについて、詳しくは『取扱説明書』「再インストールする（ハードディスク リカバリー）」をご覧ください。
ここでは、ハードディスクバックアップ機能（☞5ページ）を有効にしている場合の確認事項や操作について説明しています。

再インストールの前に

- 再インストールを実行すると、バックアップ領域は削除され、ハードディスクバックアップ機能が無効になり、バックアップしたデータは消去されます。（ただし、再インストールメニュー（☞『取扱説明書』「再インストールする（ハードディスク リカバリー）」手順*3*の③）で「3.最初のパーティションにWindowsを再インストールする」を選んだ場合を除く。）

再インストールする

- 再インストールの実行中に、ハードディスクバックアップ機能が無効になり、バックアップデータは消去されますというメッセージが表示された場合、(Y) を押してください。

再インストールの後に

- 再インストールメニュー（☞『取扱説明書』「再インストールする（ハードディスク リカバリー）」手順*3*の③）で「3.最初のパーティションにWindowsを再インストールする」を選んで再インストールすると、2番目のパーティション（データ用パーティション）のドライブ文字とSDメモリーカードのドライブ文字が入れ代わることがあります。入れ代わった状態でもそのままお使いいただけますが、以下の手順で出荷時のドライブ文字に戻すことができます。（再インストール前に2番目のパーティション（データ用パーティション）をE:、SDメモリーカードのドライブをD:にしていた場合）

1 2番目のパーティション（データ用パーティション）のドライブ文字を無効にする。
① [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[管理ツール]をクリックして、[コンピュータの管理]をダブルクリックする。
② [記憶域]の[ディスクの管理]をクリックする。
③ 「D:」と表示されている領域を右クリックして、[ドライブ文字とパスの変更]をクリックする。
④ [削除]をクリックする。
⑤ 確認のメッセージで[はい]をクリックする。

2 SDメモリーカードのドライブ文字を「D:」に変更する。
SDドライブ変更ツールを使ってDドライブに変更してください。（☞『操作マニュアル』「SDメモリー／マルチメディアカードを使う」）

3 2番目のパーティション（データ用パーティション）のドライブ文字を「E:」に設定する。
① [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[管理ツール]をクリックし、[コンピュータの管理]をダブルクリックする。
② [記憶域]の[ディスクの管理]をクリックする。
③ ドライブ文字が表示されていない領域を右クリックし、[ドライブ文字とパスの変更]をクリックする。
④ [追加]をクリックし、ドライブ文字を「E:」に割り当て、[OK]をクリックする。

ハードディスクバックアップ機能

<40 Gバイト以上のハードディスクを搭載したモデルのみ>
ハードディスクバックアップ機能とは、ハードディスク上にバックアップ領域（保護領域）を作成して、ハードディスクの内容のバックアップ（保存）や、バックアップした内容のリストア（復元）を行う機能です。他のメディアや周辺機器を使わずに、本機のみでハードディスクの内容をバックアップ／リストアすることができます。
定期的にバックアップを行っておけば、操作ミスでデータを消してしまった場合などに、ハードディスクの内容を最後にバックアップを行ったときの状態に戻すことができます。
お買い上げ時、ハードディスクバックアップ機能は無効になっています。バックアップ領域を作成するとハードディスクバックアップ機能は有効になり、データをバックアップできるようになります。ただし、一度バックアップ機能を有効にした後、無効にするには、再インストールが必要です。

ハードディスクバックアップ機能は、データのバックアップ時やリストア時にハードディスクに問題があると、正常にバックアップ／リストアが行われません。また、予期せぬ誤動作／誤操作など、データのリストア中にエラーが発生した場合、ハードディスク内のお客様のデータ（リストア前のデータ）は失われますのでご注意ください。

本バックアップ機能の使用により生じたお客様の損害（データの消失を含む）については補償いたしかねます。

ハードディスクバックアップ機能を使用する前に

■ 以下の点を確認する

- 周辺機器およびSDメモリーカード／マルチメディアカードは、すべて取り外してください。特に、USBフロッピーディスクドライブやUSB接続のCD/DVDドライブを接続したままでは、バックアップ領域が正常に作成できない場合がありますので、必ず取り外してください。
- 必ず、ACアダプターを接続してください。
- パーティションを分割する場合は、バックアップ領域作成時に選択してください。（☞ 6ページ 手順⑤）
- ハードディスクを複数のパーティションに分割していると、バックアップ領域を作成することができません。工場出荷時の状態（1つのパーティション）に戻してから、バックアップ領域を作成してください。
- バックアップ領域作成後にパーティション構成の変更（作成やサイズ変更など）を行うと、バックアップすることができなくなります。変更する場合は、工場出荷時の状態に戻してから、再度バックアップ領域を作成してください。
- ハードディスクバックアップ機能は、内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには、バックアップ／リストアすることはできません。
- ハードディスクが損傷していると、バックアップ／リストアすることができません。
- NTFSファイルシステムの圧縮機能を使用しないでください。バックアップ領域の容量が足りなくなる場合があります。
- ハードディスクが故障した場合には、データなどが読み出せなくなりますので、あらかじめ、ハードディスク以外の場所（他のメディアや外付けのハードディスクなど）にも、データをバックアップしておいてください。
- 次の手順でディスクのエラーチェックを行ってください。
  ①Cドライブのプロパティを表示する。
  [スタート]-[マイコンピュータ]をクリックし、[ローカルディスク（C:)]を右クリックして、[プロパティ]をクリックする。
  ②[ツール]-[チェックする]をクリックする。
  ③[チェックディスクのオプション]で、どの項目にもチェックマークを付けずに[開始]をクリックする。
  ディスクにエラーがあることを示すメッセージが表示された場合、再度[チェックディスクのオプション]を表示し、「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」と「不良セクタをスキャンし、回復する」をクリックしてチェックマークを付け、[開始]をクリックして、ディスクのエラーチェックを行ってください。
- ハードディスクバックアップ機能はダイナミックディスクには対応しておりません。ダイナミックディスクへの変換は行わないでください。

お知らせ

- バックアップ領域について
  - ハードディスク全体の半分以上の空き容量が必要です。空き容量が足りないと、バックアップ領域を作成することができません。
  - バックアップ領域が作成されると、使用できるハードディスクの容量は半分以下になります。
  - バックアップ領域は、Windows上からはアクセスすることができません。このため、バックアップしたデータを、CD-R など外部のディスクにコピーすることはできません。
  - ハードディスクバックアップ機能では、バックアップ領域のデータを上書きします。バックアップした後に作成／編集したデータを、さらにバックアップすると、前回バックアップ領域に保存したデータは失われます。

ハードディスクバックアップ機能

バックアップ領域を作成する

お願い

- 「バックアップが終了しました。」というメッセージが表示されるまで、電源を切ったり、Ctrl + Alt + Del を押したりしないでください。Windows が起動しなくなったり、データが消失してバックアップ領域が作成できなくなったりするおそれがあります。

① コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードが設定されている場合は、「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードを入力して、Enter を押してください。

② ← と → を使って「終了」メニューに移動し、↑ と ↓ を使って7行目の「ハードディスク　リカバリー／消去」を選んで Enter を押す。
確認のメッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押してください。
パスワードが設定されている場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力して、Enter を押してください。

> 以下の場合は、ご相談窓口にご相談ください。
> ・「ハードディスク　リカバリー／消去」が表示されない
> ・再インストール用ファイルに不整合がありますというメッセージが表示される
> ハードディスク内のリカバリー領域が削除されていたり、バックアップの作成／復元に必要なファイルが壊れていたりする場合があります。

- パーティションテーブルの第4エントリーにパーティションがあることを示す赤いメッセージが表示された場合
  - すでに該当のパーティションのデータをバックアップ済みの場合
    「はい」を選ぶ。
    パーティションは消去されます。
  - まだ該当のパーティションのデータをバックアップしていない場合
    「いいえ」を選ぶ。
    操作は中止され、セットアップユーティリティの画面に戻ります。
    あらかじめ、ハードディスク以外の場所に、該当のパーティションのデータをバックアップしておき、工場出荷時の状態（1つのパーティション）に戻してから、バックアップ領域を作成してください。

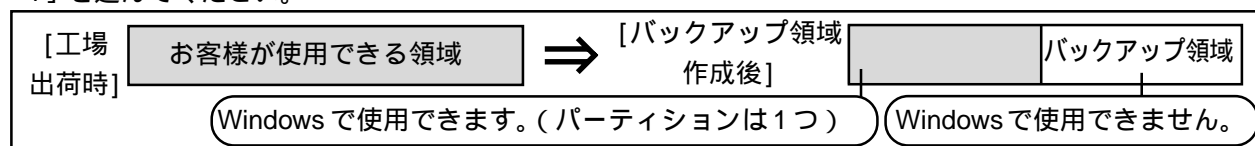
③ 3 を押して「3.【バックアップ】」を選ぶ。

お願い

- パーティションを分割する場合
  「1.【リカバリー】」を実行してパーティションを分割しないでください。パーティションを分割した後では、バックアップ機能を有効にすることができません。パーティションの分割は、手順⑤で行います。

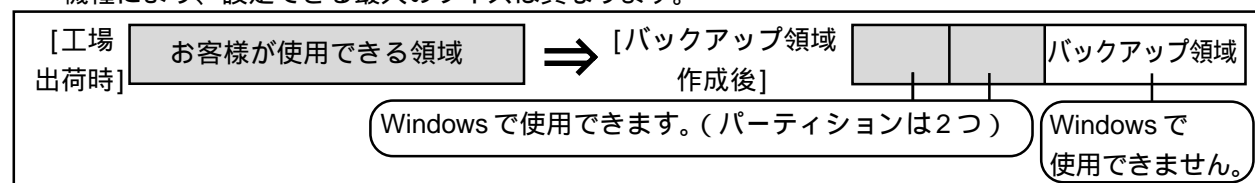
④ 確認画面で Y を押す。

⑤ メニューから、ハードディスクの分割方法を選ぶ。

- バックアップ領域を作成し、パーティションは分割しない場合
  「1」を選んでください。

- バックアップ領域を作成し、さらにOS用とデータ用の2つのパーティションに分割する場合
  「2」を選び、OS用パーティションのサイズ（Gバイト単位）を数字で入力して、Enter を押してください。
  - 0（ゼロ）を入力すると、操作を中止することができます。
  - 設定できる最大のサイズから入力した数字を引いた値がデータ用パーティションのサイズになります。機種により、設定できる最大のサイズは異なります。

[工場出荷時]　お客様が使用できる領域　⇒　[バックアップ領域作成後]　バックアップ領域

Windows で使用できます。（パーティションは2つ）

Windows で使用できません。

⑥ 確認のメッセージが表示されたら Y を押す。
バックアップ領域が作成されます。

⑦「バックアップ機能を有効にするためには再起動が必要です。」というメッセージが表示されたら、何かキーを押して、コンピューターを再起動する。
引き続きバックアップが始まります。

⑧「バックアップが終了しました。」というメッセージが表示されたら、Ctrl + Alt + Del を押してコンピューターを再起動する。

⑨ 新しいデバイスがインストールされ、その設定を有効にするためにコンピューターを再起動する必要があることをお知らせするメッセージが表示されますので、[はい]をクリックして再起動する。

お知らせ

- バックアップ領域を作成すると、セットアップユーティリティの「終了」メニューに「ハードディスク バックアップ／リストア」が表示されます。次回、バックアップおよびリストアを実行するときは、このメニューを使用します。詳しくは「バックアップ／リストアする」（☞ 下記）をご覧ください。

バックアップ／リストアする

お願い

- バックアップを実行する前に、ディスクのエラーチェックを行ってください。（☞ 5ページ）
- 途中で電源を切ったり、Ctrl + Alt + Del を押すなどして、バックアップ／リストアを中止しないでください。Windows が起動しなくなったり、データが消失してバックアップ／リストアが実行できなくなったりするおそれがあります。

① コンピューターの電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。
パスワードが設定されている場合は、「パスワードを入力してください」と表示されますので、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力して、Enter を押してください。

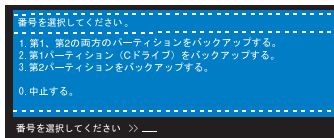
② ← と → を使って「終了」メニューに移動し、↑ と ↓ を使って一番下の「ハードディスク バックアップ／リストア」を選んで Enter を押す。
↓
確認のメッセージが表示されたら、「はい」を選び、Enter を押す。

- パーティションテーブルの第4エントリーにパーティションがあることを示す赤いメッセージが表示された場合
  - すでに該当のパーティションのデータをバックアップ済みの場合
    「はい」を選ぶ。
    パーティションは消去されます。
  - まだ該当のパーティションのデータをバックアップしていない場合
    「いいえ」を選ぶ。
    操作は中止され、セットアップユーティリティの画面に戻ります。
    あらかじめ、ハードディスク以外の場所に、該当のパーティションのデータをバックアップしておいてください。

ハードディスクバックアップ機能

③ メニューから、実行する操作を選ぶ。

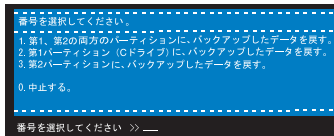
● ハードディスクの内容をバックアップ領域にバックアップする場合

*1

(1) を押して「1.【バックアップ】」を実行する。
（ハードディスクを2つのパーティションに分割している場合、続けて、画面（*1）が表示されます。バックアップの方法を選んでください。）

↓

確認画面で (Y) を押す。
バックアップが始まります。

● バックアップ領域に保存した内容をハードディスクに戻す場合

*2

(2) を押して「2.【リストア】」を実行する。
（2つのパーティションでバックアップしている場合、続けて、画面(*2)が表示されます。リストアの方法を選んでください。）

↓

確認画面で (Y) を押す。
リストアが始まります。

※ バックアップ（またはリストア）にかかる時間は、データ量によって異なります。

④「バックアップが終了しました。」または「リストアを終了しました。」というメッセージが表示されたら、(Ctrl) + (Alt) + (Del) を押してコンピューターを再起動する。

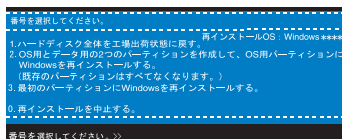
- バックアップ／リストアの途中で電源が切れた場合などは、再度実行してください。
- 新しいデバイスがインストールされ、その設定を有効にするためにコンピューターを再起動する必要があることをお知らせするメッセージが表示された場合は、[はい]をクリックして再起動してください。

お願い

- ハードディスクバックアップ機能を有効にしている状態では、お客様がアクセスできる領域内のすべてのデータを市販のデータ消去ユーティリティなどを使って消去しても、バックアップされたデータは消去されません。 本機に搭載されているハードディスクデータ消去ユーティリティ（☞ 9ページおよび『取扱説明書』「本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する」）を使うと、 バックアップされたデータを含むハードディスク内のデータを消去することができます。本機を破棄または譲渡する場合は、 ハードディスクデータ消去ユーティリティをご使用ください。
- バックアップの途中、まれに「#1805 イメージファイルが書けません」というエラーメッセージが表示され、バックアップが中断されることがあります。このエラーが発生した場合には、再度バックアップを実行してください。再度バックアップを実行し、バックアップが正しく終了すれば、ハードディスクに問題はありません。

ハードディスクバックアップ機能を無効にするには

再インストールを行う必要があります。バックアップ領域およびハードディスク内のデータは消去されます。
「再インストールする（ハードディスク リカバリー）」（☞『取扱説明書』「再インストールする（ハードディスク リカバリー）」）の手順3の②までを行い、再インストールを実行するための画面が表示された後、以下の画面が表示されますので、「1」または「2」を選んで再インストールしてください。

番号を選択してください。
再インストールOS：Windows ****
1.ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す。
2. OS用とデータ用の2つのパーティションを作成して、OS用パーティションにWindowsを再インストールする。
（既存のパーティションはすべてなくなります。）
3. 最初のパーティションにWindowsを再インストールする。
0. 再インストールを中止する。
番号を選択してください。>>__

- 「1」を選ぶと、ハードディスクバックアップ機能を無効にすることができます。
- 「2」を選ぶと、ハードディスクバックアップ機能を無効にすることはできますが、パーティションが分割されるため、再度ハードディスクバックアップ機能を有効にすることができません。
- 「3」を選ぶと、ハードディスクバックアップ機能を無効にすることができません。

本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する

コンピューターの廃棄・譲渡時におけるハードディスク内のデータ消去について

最近、コンピューターは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのコンピューターの中にあるハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

したがって、そのコンピューターを廃棄または譲渡するときには、これらの重要なデータを消去することが必要です。

ところが、このハードディスク内に記録されたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般には次のような操作を行います。

・データを「ごみ箱」に捨てる
・「ごみ箱を空にする」機能を使ってデータを消す
・「削除」操作を行う
・ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
・再インストールをして、工場出荷状態に戻す

しかし、これらの操作を行っても、ハードディスク内に記録されたファイルの管理情報が変更されてデータを呼び出す処理ができなくなるだけで、本来のデータは残っているという状態にあります。

したがいまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人によって、このコンピューターのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

お客様がコンピューターを廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク内の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録されたすべてのデータを、お客様の責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（ともに有償）を利用するか、ハードディスク内のデータを金槌や強い磁気によって物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

データ消去のための専用ソフトウェア・サービスについて：
本機には、ハードディスク内のデータを消去するハードディスクデータ消去ユーティリティが搭載されています。ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。ハードディスクデータ消去ユーティリティについて詳しくは、『取扱説明書』の「本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する」をご覧ください。

その他、データの消去に関しては、下記の情報窓口をご利用ください。
＊パナソニックPCのホームページ（http://panasonic.biz/pc/recycle/）
＊パナソニックパソコンお客様ご相談センター（フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック））
＊リース、レンタル会社への返却については、リース、レンタル会社の問い合わせ窓口

また、ハードディスク内にお客様がインストールした市販のソフトウェアを削除せずに本機を譲渡すると、そのソフトウェアのライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

ハードディスクデータ消去について、詳しくは『取扱説明書』「本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する」をご覧ください。
ここでは、ハードディスクバックアップ機能を有効にしている場合の確認事項や操作について説明しています。

データ消去の前に

- お客様がアクセスできる領域内のすべてのデータと、ハードディスクバックアップ機能を有効にしている状態のバックアップデータが消去されます。

データをすべて消去する

- ハードディスクデータ消去の実行中に、ハードディスクバックアップ機能が無効になり、バックアップデータは消去されますというメッセージが表示された場合、Y を押してください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、「サポートデスク」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間
［消耗品（バッテリーパック）を除く］

■ 補修用性能部品の保有期間

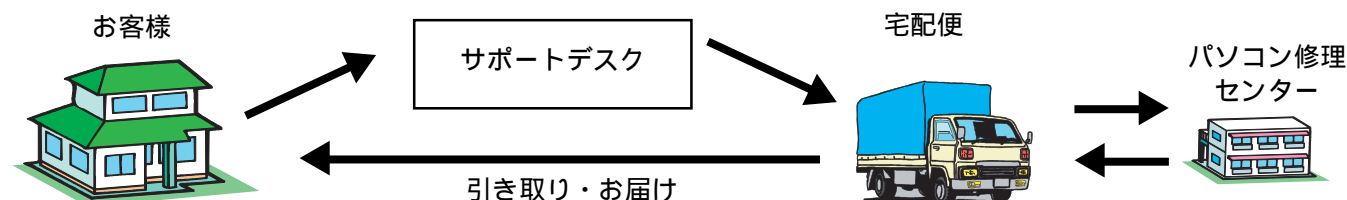
当社は、このパーソナルコンピューターの補修用性能部品を、製造打ち切り後６年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 海外での使用について

本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
また、当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売品の供給は行っておりません。
This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

修理を依頼されるとき

『困ったときのQ&A』および『操作マニュアル』「困ったときは」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、サポートデスクへご連絡ください。

本製品は引取修理サービスを実施しております。
引取修理サービスとは
修理時に、当社指定の宅配業者が専用梱包箱を持ってパソコン修理品の引き取りにお伺いし、修理が完了した後、直ちに宅配業者がお届けする、早くて便利な修理サービスです。

●保証期間中は
保証書の規定に従って修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品と保証書をご準備いただき、サポートデスクにご相談ください。また、引き取り修理の送料は当社が負担させていただきます。
また、出張修理（オンサイト）サービスもご希望により有料で対応可能です。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。また、引き取り修理の送料はお客様のご負担となります。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・送料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品の交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
送料 は、お客様のご依頼により修理品を引き取り、またはお届けする場合の費用です。
出張料 は、お客様のご希望により出張修理を行った場合の、出張に要する費用です。

修理に関するご相談
サポートデスク
電　話 フリーダイヤル 0120-05-8729 受付時間　祝祭日および年末年始（12/30〜1/4）を除く月曜日から金曜日 9時〜17時30分

商品についてのお問い合わせは
パナソニックパソコンお客様ご相談センター
電　話 フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック） ＦＡＸ (06)6905-5079 365日／受付9時〜20時 （パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

（日本国内からのお問い合わせのみ）2005年1月1日現在

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、ナショナルパナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

消耗品・寿命部品について

コンピューターの部品は、使用しているうちに少しずつ劣化・磨耗します。また、一部の部品の劣化・磨耗が原因で、製品としての性能が十分に発揮されない場合があります。
コンピューターを長く、安全に使用していただくためには、劣化・磨耗した部品を交換することが必要です。
当社では、劣化・磨耗の進み方の違いによって、部品を消耗品と寿命部品に分類して扱っています。

種類	部品	備考
消耗品	バッテリーパック	・お客様ご自身で購入し、交換していただく部品です。 ・保証期間内でも有償です。
寿命部品	ハードディスクドライブ LCD（液晶ディスプレイ） キーボード ACアダプター リチウム電池	・修理による再生ができない場合（部品の寿命）に交換する部品です。 ・保証期間内の修理は無償ですが、部品の寿命による交換は、有償になる場合があります。 ※寿命部品の交換の目安は、事務室で8時間/1日、250日/1年の使用で約5年です。ただし、習慣的に昼夜連続して使用するなど、使用状態によっては保証期間内でも部品の寿命による交換が必要になる場合があります（有償になる場合があります）。

仕様 日本国内専用

本機の仕様は以下をご覧ください。

● 本体仕様

<table>
<tr><td rowspan="2">機種名</td><td colspan="3">CF-R3 シリーズ</td><td colspan="2">CF-T2 シリーズ</td></tr>
<tr><td>CF-R3FW1AXS</td><td>CF-R3FC1AXS</td><td>CF-R3FC5AXS</td><td>CF-T2FW1AXS</td><td>CF-T2FC1AXS</td></tr>
<tr><td>メインメモリー</td><td colspan="2">CF-R3FW1AXRと同じ（☞『取扱説明書』「仕様」）</td><td>標準512Mバイト*1、DDR SDRAM（最大1024 Mバイト）</td><td colspan="2">CF-T2FW1AXRと同じ（☞『取扱説明書』「仕様」）</td></tr>
<tr><td>無線LAN</td><td></td><td colspan="2">内蔵されていません</td><td></td><td>内蔵されていません</td></tr>
<tr><td>質量</td><td></td><td colspan="2">約980 g</td><td></td><td>約1055 g</td></tr>
<tr><td rowspan="3">導入済みソフトウェア*2</td><td colspan="5">Microsoft® Internet Explorer 6 Service Pack 2
Adobe Reader
DMIビューアー
Microsoft® Windows® Media Player 9
DirectX 9.0c
Microsoft® Windows® Movie Maker 2.1
ネットセレクター
SDユーティリティ
ホイールパッドユーティリティ
フォントサイズ拡大ユーティリティ
無線LAN切り替えユーティリティ（CF-R3FW1AXS ／ CF-T2FW1AXS のみ）
Hotkey設定
PC情報ビューアー
Wireless Manager mobile edition*3</td></tr>
<tr><td colspan="5">セットアップユーティリティ
ハードディスクデータ消去ユーティリティ*4
ハードディスクバックアップユーティリティ*4</td></tr>
<tr><td colspan="5">下記のソフトウェアをお使いになる場合は、セットアップが必要です。
・ズームビューアー：C:\util\loupe\setup.exeをダブルクリックして画面の指示に従ってください。
・NumLockお知らせ：C:\util\numlkntf\setup.exeをダブルクリックして画面の指示に従ってください。</td></tr>
<tr><td>上記以外</td><td colspan="3">CF-R3FW1AXR と同じ（☞『取扱説明書』「仕様」）</td><td colspan="2">CF-T2FW1AXRと同じ（☞『取扱説明書』「仕様」）</td></tr>
</table>

*1 1Mバイト=1,048,576バイト。
*2 本機はインストール済みOS以外では動作保証しておりません。
*3 ワイヤレス投写用アプリケーションソフト（パナソニック液晶プロジェクターTH-LB10NTとワイヤレス接続するときに使います。☞『操作マニュアル』「無線LANで通信する」）
なお、CF-R3FC1AXS／CF-R3FC5AXS／CF-T2FC1AXSをお使いの場合は、別売りのワイヤレスカードTW-CDWL3またはTW-CDWL2が必要です。
*4 セットアップユーティリティから実行するユーティリティ。

＜CF-R3 シリーズのみ＞

本機のモデムは下記の国または地域の規格に準拠しています。

アイスランド、アメリカ、アルゼンチン、イギリス、イスラエル、イタリア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、韓国、キプロス、ギリシャ、クロアチア、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、台湾、チェコ、チリ、中国、デンマーク、ドイツ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、ハンガリー、フィリピン、フィンランド、ブラジル、フランス、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マレーシア、南アフリカ、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルク（2005 年 1 月 1 日現在）

● 日本国内でお使いになる場合は、以下の手順で[国／地域]を[日本]に設定してください。（工場出荷時は日本に設定されています。）

①[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [電話とモデムのオプション]をクリックする。
②[ダイヤル情報]をクリックし、[編集]をクリックする。
③[全般]をクリックし、[国／地域]を[日本]に設定して[OK]をクリックする。

SS0105-0
DFQM5591ZA